

一元管理とメンテナンスフリーが Chromebox 採用の決め手 システムのクラッシュでレッスンが中断する課題を解消



株式会社GABAは、1人ひとりの英会話習得目的に合わせたレッスンを提供できるマンツーマンに特化した、「Gabaマンツーマン英会話」を全国に展開しています。受講者は、スマートフォンやPCからレッスン日時や講師を自由に選んで予約できるだけでなく、予習や復習もすべてオンラインで行えるのが特長です。Gabaでの学習をサポートするITシステムについて、IT部門のキーマン2名と、実際にシステムを使用するインストラクターの統括マネージャーに話を伺いました。

(利用している Chrome Enterprise サービス)

[Chrome Enterprise](#)、[Chromebox](#)

レッスンで使われるオンライン カルテの専用 OS を Chromebox で刷新

GABAは、マンツーマン形式のレッスンに特化した英会話スクールです。世界50か国以上の国や地域出身の多彩なインストラクターが、日常会話からビジネス英会話まで、受講者1人ひとりのレベルや目的に合わせてレッスンをカスタマイズ。日時や講師を選べる自由予約制、専門カウンセラーやインストラクターによるサポートなど、通いやすく、続けやすいシステムにより、受講者の上達をサポートします。

1995年の創業から20年以上の歴史を持つGABAでは、早い時期からIT活用を重要な経営戦略の1つと位置付けています。増永真人さんは、「英会話スクールで、予約システムを独自に開発し、導入したのは、おそらくGABAが初めてです。レッスンの予約はもちろん、レッスンの履歴管理や予習・復習などが行える受講者情報管理ページ(以下、オンラインレッスンカルテ)をはじめとするすべてのシステムを自社開発しています。」と話します。現在、レッスンで使われているオンラインレッスンカルテは、専用OSを独自に開発し、そのOS上にシンクライアントシステムとして構築されています。Gabaインストラクターは、「端末の電源を入れるとブラウザが起動され、レッスンに必要なすべての

アプリを利用できます。オンラインレッスンカルテだけでなく、GoogleマップやYouTubeなどの汎用ツールを使いながらレッスンすることもあります。」と話します。



オンラインレッスンカルテは、専用OSを使っているため、シンクライアント端末の台数が増えると、機能拡張やセキュリティアップデートなどの作業負荷が増大していました。アップデート自体は2分程度で終わりますが、端末台数が多いので、一斉に



Gabaマンツーマン英会話

株式会社GABA

<https://www.gaba.co.jp>

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 2-21-1
新宿フロントタワー 23 F

「Gabaマンツーマン英会話」の名称で、マンツーマン専門の英会話スクールを運営。受講者1人ひとりのレベルやニーズに合わせたレッスンを提供するほか、法人向け英語研修も提供しています。

・写真左から

株式会社GABA
IT部門
サービスデスク課
マネージャー
増永 真人 氏

株式会社GABA
インストラクター統括マネージャー
ジュリー ストックス 氏

株式会社GABA
IT部門
ITインフラストラクチャー課
マーティン リンドナー 氏

アップデートがはじまるとネットワークにかなりの負荷がかかります。マーティン・リンドナーさんは、IT インフラの課題を次のように語ります。「たとえば、ブラウザにブックマークを1つ追加したい場合、まず専用 OS を作り直し、各端末に配布することが必要です。シンクライアント端末では、電源を入れたときに、新しい専用 OS の更新がはじまるので、その間はレッスンができないこ

ともありました。またレッスン終了後に、IT 部門でシンクライアント端末のメンテナンスが必要なこともあり、いかに作業負荷を軽減するかが課題でした。」これらの課題を解決するために、Gaba が選択したのは、Chromebox の採用による IT インフラ環境の刷新でした。

サービス品質向上の観点で可用性重視の経営トップも Chromebox に期待

Gaba では 2016 年秋に、本社にある講師のトレーニング施設に 16 台の Chromebox を導入し、トライアルを実施しています。増永さんは、「トライアルの結果、インストラクターの評価がかなりよく、IT 部門としても管理がしやすいので、経営トップの承認を得て、2016 年冬 に採用を決めました。Chromebox は、電源を入れるたびに、常に最新の状態で利用できます。また、1 台あたり 5~10 分程度でキッキング作業ができ、さらに一元管理ができるので、端末の台数が多くなればなるほど、Chromebox はベストの選択だと思います。サービス品質向上の観点で、システムが止まらない可用性を重視している経営トップも Chromebox に期待しています。」と話します。



Chromebox の導入効果の一つは、ハードウェアを変更してもアプリの互換性を気にする必要がなく、メンテナンスフリーを実現できることです。シンクライアント端末では、専用 OS を使っていたので、ハードウェアの更改時にブラウザやアプリの互換性を確認する必要があり、互換性がなければ専用 OS の作り直しが必要でした。また、シンクライアント端末で利用されていた 17 インチのディスプレイやキーボード、マウスなどの周辺装置を有効活用できるのもメリットの1つでした。

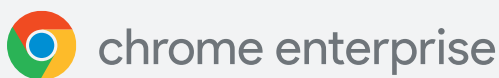
複数の Gaba インストラクターへのアンケートでは、Chromebox 導入前の課題として、「専用 OS のときには、システムのクラッシュにより画面がフリーズしてしまい、レッスンが中断

することがありました。」「ブラウザの互換性の問題で、アクセスできないウェブサイトもありました。」などの回答がありました。Chromebox 導入後に関しては、「専用 OS の問題は解消されスムーズなレッスンが実現できました。」「操作性やパフォーマンス、ユーザーエクスペリエンスも向上しているので、Chromebox には非常に満足しています。」と答えています。

今後の展開についてマーティンさんは、「現在、99% はオンプレミスによる開発ですが、今後は電子メールやグループウェアなどの業務アプリを含め、クラウドサービスにシフトしていく計画です。Chromebox で使っているのは、インストラクター用のアプリだけですが、クラウド化により業務アプリも Chromebox にリプレイスできるかもしれません。」と話します。



「2017 年冬の導入開始以来、現在約 200 台の Chromebox が Gaba の学校に導入されています。今後は、2019 年 2 月までの期間で、すべての学校に合計 900 台の Chromebox を順次導入していく計画です。また企業と契約し、企業内に英会話教室を設置するサービスも提供しており、2 社の教室に、先行して Chromebox を導入し、お客様に使ってもらっています。」(増永さん)



Chrome OS を搭載した Chromebook とクラウドベースのアプリケーションを用いることで、ユーザーはどこからでも自由かつ安全に、重要なデータにアクセスし、瞬時に判断を行うことが可能です。迅速で協調性をもった働き方により、高い生産性を実現します。IT 管理者は Chrome Enterprise ライセンスにより、高度で柔軟性をもった運用環境を提供しつつ、強固なセキュリティと大幅な TCO の削減が可能です。

お問い合わせはこちら
<https://goo.gl/GFDU8>



Chrome Enterprise の詳細については、右記 URL もしくは QR コードからアクセスしていただくか、同ページ「お問い合わせ」よりお問い合わせください。
© Copyright 2018 Google
Google は、Google LLC の商標です。その他すべての社名および製品名は、それぞれ該当する企業の商標である可能性があります。

